

沖縄や北海道より気分的に近い島・台湾（その4） 佐伯 順弘（岐阜県）

Travel planning

DAY1 5th JAN NGO→TPE
 DAY2 6th JAN TPE→KHH
 DAY3 7th JAN KHH
 DAY4 8th JAN KHH ★
 DAY5 9th JAN KHH→TPE→NGO★

DAY4 (8JAN2017) 高雄

0800 起床。0845 朝食。



これは台湾の朝食ビュッフェなのだが、ややイングリッシュブレックファストに寄せている。だからどうというわけではないのだが、台湾なのになぜこの朝食なのかという疑問に対しての説明に過ぎない。このホテルは高雄に来た時の定宿なので、どんなメニューが並んでいるかはよく把握している。中華、洋食、なんなら和食さえある。多岐に渡っているのである。そのおかげで、今日はイギリスに寄せる、今日は台湾に寄せるといった統一感を大切に朝食を組み立てている。ただそれだけのこと。

正月休みを利用した海外旅行も今日を含めてあと2日。最終日は帰国のための移動日なので実質今日が活動最終日だ。かといって、必ず行っておかねばならない場所、やっておかねばならないことといった「ねばならないこと」など、そうはない。いつもように、なんとなくの流れを構築しつつ、「無計画行き当たりばったり」を基本として今日も活動して行こうと決意する。計画をこなすだけなど旅とは呼ばないのだ。

0945 ホテル発。今日もいい天気だ。旅は足の向くまま、気の向くまま。自然と近くのMRT 鹽埕埔駅に向かっていた。路線図を見ると、「西仔灣」の文字が。決まりだ。MRTで西仔湾駅までいく。

1030 西仔湾站着。站を出て歩くと程無く、フェリー乗り場に到着。高雄の交通カードで支払い。

フェリーの出航間隔はそれほど長くない。すぐ乗り込んで、すぐ出発。10分余りで到着する船の旅。本当にちょっとした移動なのだけれど、気持ちいい。短い時間でも心

が解放されるのを感じる。不思議なものだ。幼少の頃は、とにかく乗り物酔いがひどかった。父が運転する自家用車はもとより、タクシーもだめだった。バスに至っては見ただけで気持ち悪くなり、乗り込んであの日本のバス特有の臭いを嗅ぐと、喉の辺りに消化中の食糧が食道を酸で焼きながらせりあがってくるのを感じたものだ。自動車教習所のコースを自分で運転するときでさえ気持ち悪くなり、コース上で止めさせてもらい、深呼吸をしてから再開したくらいだ。もちろん、船は小舟からフェリー位の大きな船まで基本的にダメだった。その後、カヌー、ゴムボート、自転車、バイクなど、自分で完全にコントロールして攻めていく乗り物については酔わないことを発見。気持ち悪くなっていた乗用車も峠を攻めるようになってからは酔うなどの無様な姿はさらしていない。今では、高速自動車道の運転などぬくくて眠くなってしまうくらいだ。だから、岐阜小菅間の移動時間は調子がいい時と悪い時では2時間以上の差がある。眠くなると途中のSAで仮眠をとるからだ。今回の旅もだが、海外旅行では外せない飛行機はどうかというと、全く酔わない。当然である。なぜか。それは、客席に座っているものの、自分が操縦しているイメージが完璧だからである。機体チェック、管制官とのやり取り、滑走路に出たら、「クリアード・フォー・テイクオフ」の指示を確認し、スロットルを開き、離陸速度まで加速し、操縦かんを引く。車輪の接地感がなくなり、完全に空中にいることを確認する。更に高度を増し、緩やかに旋回し、飛行高度に達する。酔っている暇などないのである。何事も主体的に生きていけば、大丈夫なのである。

そんなわけで、フェリーの話である。フェリーは操縦イメージも何もないし、若干揺れるものの、のんびりとわずかな船旅を楽しめる。時折混ざるガソリンの臭いも感知しつつ、気持ちのいい海風を体いっぱいを受けて、海の上を移動する。これもまた酔うという現象とは無縁だ。

さらに考えてみると、臭いが駄目なのかもしれない。日本のバスは臭いが、海外のバスは臭くないので酔わない。飛行機は臭くない。おっと、そんな自分の乗り物酔いに関する考察などどうでもよかった。例によって、0.01秒程度の考察なので生きる時間のロスなどは考えなくともよいのだが、やはり時間は正しく使いたい。僅かだからと言って、この大切な旅の時間をあまりにも無駄なことに使う訳にはいかない。0.0001秒の損失もなく、この旅を、空白の時間を楽しみたいのだ。



さて、乗っているのはフェリーである。元々半島状態で陸続きであったところを切って、島になったところをフェリーと地下隧道でつないでいる。このフェリーは地域住民の足として気軽な交通手段としてだけではなく、観光地化している島へ多くの客を運ぶ輸送手段となっている。そんな移動手段だか、格安で気分を変えてくれるなかなかすぐれた乗り物である。

1045 旗津着。MRT の駅に着いてから 15 分しか経っていないが、島である旗津に到着した。観光地はいくつかあるが、すべて行ったことがあるので、特に目的地はない。足の向くまま歩き出した。気が付くと西仔湾に来ていた。



やっぱ、海なし県に住んでいると海が見たいよなあと思いつつ、あたたかい冬の海を見ながら砂浜を歩いた。

1150 旗後砲台。それから、砲台に登った。由来などは全く覚えていない。1800 年代後半に作られたらしいのだが、どんな戦いがあったとか、そもそも使われたのかさえ知らない。ただ、これだけの厚さのコンクリートならかなりの耐久力があつただろうとか、艦砲射撃なら耐えら



れないだろうとか、これまたどうでもいいことを考えていた。その後、ぷらぷらと砲台を降り、レストラン街で花枝丸 15NT\$ を食す。これは、イカ団子である。花枝のイメージからげそ天のようなものかと思われる。安くてうまい。フェリーで戻ってきたところ、「元福」の前を通りかかった。

日本人学校時代に生徒がここの焼肉飯は旨いからと絶賛するものだから、何回か来ている食堂である。焼肉便當を食す。70NT\$。



ご飯の上に焼肉や野菜が乗っているもの。旨い、旨いよ。しかし、なぜ彼があれほど激賞していたのかは理解できない。

1330 ホテル最寄りの駅まで戻って、ホテルに帰る途中、よくいく小籠包屋の前を通った。いや、これは食べておくべきだと判断した。



小籠包屋「永和」の小籠包 1 蒸籠 60NT\$

ホテルに戻って、シャワーを浴びて、少し寝る。食いたいものを食いただけ食って寝る。デブの王道である。

1600 家樂福 Carrefour へ出かける。基本的に「お土産は無事故でいいのよ、お兄さん。」派なので、土産など買わないのだが、魔がさして買うこととなった。アーモンドクッキー 75 を 3 箱で 225NT\$。それから C-POP の CD を買ってしまった。こちらの歌手はアイドルでも歌が上手い。388+378 で 766NT\$。これで買い物も終わった。ミッションらしいミッションは終了である。ホテルに戻って、旅メモ・会計メモを書く。残りの軍資金でどれだけ飲めるか計算。

2000 頃 ホテル発。若者が集まる場所らしい「新堀江」近くで夕食。ラーメンと野菜。

2100 よく通ったライブハウスに行く。

C-POP も歌うが、スタンダードも一般的に言われるポップスも歌う。複数で行っても音が大きい話せない。一人でいっても十分楽しいが、なぜかグループで来て、音楽より大きい声で話す方々が多い。858NT\$。

2230 心の救護所であった PUB にいく。少しずつスタッフの顔ぶれは変わっているが、笑顔は変わらない。一人で来て、中国語や英語が拙くても構ってくれる。誰かと来る機会があれば、ぜひ連れてきたい。830NT\$。0 時頃帰投。

DAY5 (9JAN2017) 高雄→台北→名古屋

0510 アラームを鳴らさず起床。今日については日程的にぎりぎり、何かトラブルがあって乗り遅れば、かなりまずいことになるため、完全に眠ってはいなかったのだろう。吐き気あり。シャワー、パッキング、部屋を簡単に片づける。立つ鳥、跡を濁さず、来た時より美しく。ぐちゃぐちゃにしたまま部屋を後にするなど、耐えられない。完璧にベッドメイキングをする必要などない。しかし、軽く整えるくらいはしているのではないかな。急いでいる割にはそういうところにこだわるのが悪い癖だと十分自覚しているが、それも自分の生き方である。

0630 朝食。軽めに済ます。すぐチェックアウト。

0640 食べ始めてから、ホテル出るまで 10 分。

0646 MRT 鹽埕埔站発。気温はやや低く、列車の中もやや寒い。0716 THSR 左營站着。日本の新幹線の如く、慣れた手順で桃園站までの切符を買う。左營→桃園 1290NT\$。

0720 高速鉄道発着ホームに立つ。0735 発 0909 着の 0610 号を利用する。定刻出発到着。

0913 空港行きバス 30NT\$。完璧なタイミング。

0929 Terminal-1 到着。0937 check-in 完了。

ここまでくれば安心である。一般的に国際線のチェックインは出発の 2 時間前と言われる。航空会社によって違うが、2 時間前にカウンターにいれば、おそらく大丈夫だ。もちろん、確実ではない。以前 2 時間前に着いたら、既にカウンター前には長蛇の列。空港は混んでいる保安検査、出国審査も時間がかかるに違いない。時間は確実に進む。かなり焦ったことを憶えている。だが、それはめったにない。最近はチェックインマシーンなども装備されており、手続きはかなり早い。(若干味気ないが。) そんなわけで、それほど急ぐ必要はなかったかもしれないが、勝手な楽観的推測により間抜けにも乗り遅れ等ということにでもなれば、始業時に遅れ、次回の旅に出にくくなることは必定である。これら諸般の事情を鑑みて、今回はこのプランを採用したのである。ちなみに出発時刻は正午である。さて、チェックインを終え、空港の混雑具合を確かめれば、後はのんびりと空港を楽しむだけである。とはいえ、2 時間ちょっとなどあっという間に過ぎてしまう。

1030 出国審査。1049 GATE-B7。台北の桃園国際空港は決して狭いわけではないので、早めにゲートまでの距離を確認しておく必要がある。

1125 なんか知らんが、待合エリアでパスポートチェックがあった。まだ、搭乗のアナウンスはない。

1145 無事搭乗開始。40k の座席。窓側。

1220 しまった。いつの間にか飛び立っていた。操縦のイメージをもつたの御託を並べようと結局はこんなものである。着席して安心したせいか眠っていたのだ。大した後悔ではない。

1240 早くも機内食が配られる。昼時だからそんなもんか。鶏肉飯。台湾の優しい味わいである。後はビールを飲みながら、機内エンタメを楽しむ。日本未公開の洋画や日本ではまずやらない中華系の映画が楽しめるのがいい。今回は、リウ・イーフェイの出ている映画「NEVER GONE」が良かった。なかなかのこっぴどかしさと「はあ？」と言いたくなるエンディングが絶妙である。DVD とか BD は出ていないようだ。ネットでも見られないみたいだ。残念。



もう 1 本は、機内誌のガイドを見て、見始めたら、もう着陸ということでみられなかった作品。「SOUL MATE」直感がこれを観ろ！といていたが、間に合わなかった。(後で調べたら、別ルートで知った「少年の君」と同じスタッフ・キャストが関わっていることが発覚。また、セットで DVD&BD も発売されているらしい。)



飛行機での過ごし方は、食べる、飲む、観る、寝る、出すのくりかえしなので案外忙しい。今回のように短いフライトはあっという間だ。

1530 頃 名古屋の地に降り立つ。家に戻るまでが遠足なので完全に終わったわけではないが、これで、2017 年のちょっとした正月旅はほぼ終わり。大切な街をふらふらするだけで、気持ちが整う。明日から頑張る気持ちになれる。旅がある限り、何があろうとも絶望することはない。常に新しいエネルギーで心を満たすことができる。既に、夏の旅計画は構想が固まりつつある。

2017 正月旅

沖縄や北海道より気分的に近い島・台湾 (完)